

中小企業景況調査結果(平成29年7～9月期)

中小企業の業況は、小幅な低下状況にある。

山口商工会議所では、管内中小企業100社を対象に景況調査を実施し、このほど平成29年7～9月期実績と平成29年10～12月期見通しについての調査結果(回答数89社、回答率89%)をとりまとめた。本調査は、3ヶ月毎に年4回行っている。

全業種のDI値に見る業況判断動向を前期と比較すると、前期の▲24%から▲26%に低下した。業種別にみると、製造業が▲23%から▲42%とマイナス幅が大幅に拡大し、来期は▲18%と大幅に上昇の見通しである。建設業は▲14%から0%に大幅に上昇し、来期も20%と引き続き大幅に改善する見込みである。小売業は▲37%から▲30%に改善しており、来期見込みは▲29%でほぼ横ばいである。サービス業は、▲15%から▲27%とマイナス幅が大幅に拡大しており、来期は▲14%と改善の見通しである。

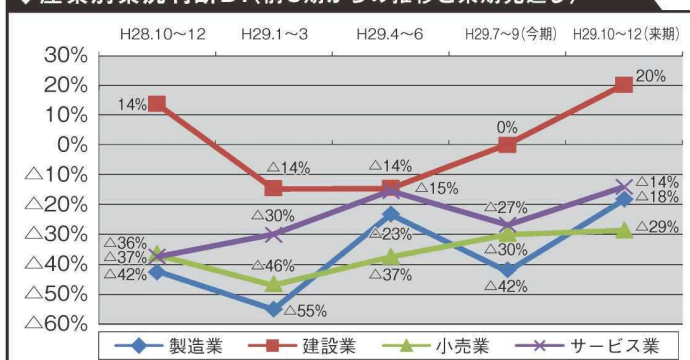
今回調査では、全業種において仕入単価の低下傾向が見られた。

新規設備投資について、今期中に設備投資を実施した企業は全体の17%、来期設備投資を実施予定の企業は9%であった。経営上の問題点については、従業員の確保難、人件費の増加といった労働力関連の問題点と、新規参入業者の増加、取引条件の悪化など、企業の競争力確保についての問題点が新たに挙げられている。

◆業況DI値(今期の状況)

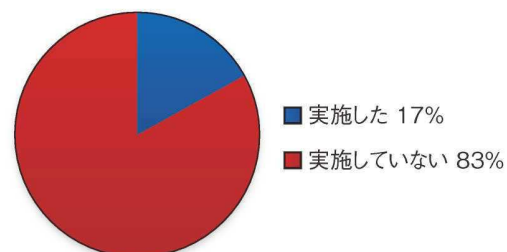
	業況判断	前回調査比	売上	前回調査比	資金繰り	前回調査比	仕入単価	前回調査比	経常利益	前回調査比	従業員数	前回調査比
全産業	△26%	↘	△29%	↘	△8%	↗	21%	↘	△31%	↗	△4%	↗
製造業	△42%	↘	△31%	↘	△23%	↘	15%	↘	△54%	↘	△25%	→
建設業	0%	↗	△13%	↗	0%	↗	40%	↘	△33%	↗	13%	↗
小売業	△30%	↗	△28%	↗	△10%	↗	10%	↘	△24%	↗	4%	↗
サービス業	△27%	↘	△33%	↘	0%	↗	21%	↘	△27%	↘	△11%	↗

◆産業別業況判断DI(前3期からの推移と来期見通し)

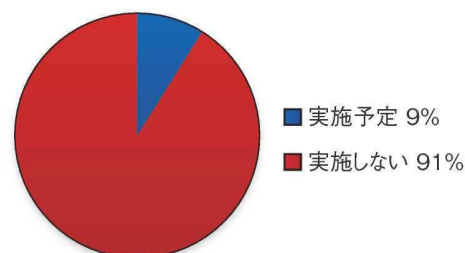


◆新規設備投資(今期実施・来期計画)

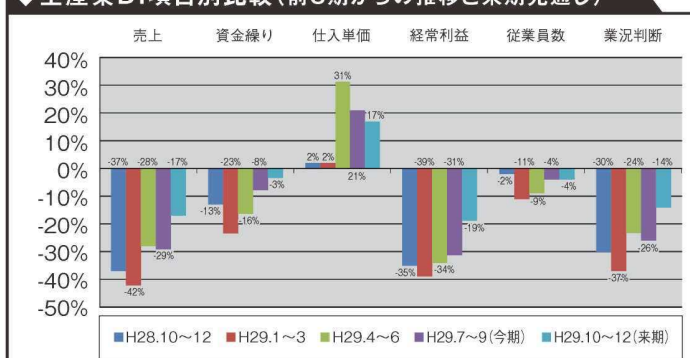
【今期設備投資】



【来期設備投資計画】



◆全産業DI項目別比較(前3期からの推移と来期見通し)



◆経営上の問題点

	製造業	建設業	小売業	サービス業
1位	需要の停滞 35.3%	従業員の確保難 14.6%	需要の停滞 17.8%	消費者ニーズの変化への対応 19.5%
2位	製品(加工)単価の低下・上昇難 11.8%	熟練技術者の確保難 14.6%	購買力の他地域への流出 16.4%	人件費の増加 11.7%
3位	取引条件の悪化 11.8%	新規参入業者の増加 12.2%	消費者ニーズの変化への対応 13.7%	従業員の確保難 11.7%

※DIとは、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で、各調査項目についての増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。